

平成 19 年 7 月 17 日

平成 19 年新潟県中越沖地震の影響について（第二報）

7 月 16 日午前 10 時 13 分頃、新潟県上中越沖を震源として発生した標記地震の当社子会社の帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：相岡雅俊）施設への影響について、下記の通りお知らせいたします。（平成 19 年 7 月 17 日 18 時 30 分現在）

記

帝国石油の主要地域である長岡地区における主要施設に直接的な影響はありませんでしたが、安全確認のため天然ガス生産施設を停止いたしました。異常のないことを確認いたしましたので、同日 17 時 30 分より順次生産を再開し、本日 16 時現在、全ての施設での稼動を再開、通常運転となりました。

また、同社天然ガスパイプラインネットワークについて、遠隔監視システムにより異常のないことを確認のうえ、地震発生後、生産施設の稼動再開までの間もパイプライン湛ガス※¹ 及び関原地下貯蔵施設※² からの排出等により安全に天然ガスの供給を継続いたしました。さらに各ライン沿線でパトロールを実施し、供給に支障のないことを再確認しておりますが、今後の余震等の可能性を踏まえ監視を強化しております。

※ 1：パイプライン内に常時備蓄しているガス。

※ 2：枯渇したガス田に天然ガスを圧入／貯蔵し、季節の需要変動や緊急時などに排出させることができる施設。

なお、柏崎地区において同社生産基地間の送油管が地震の影響で損傷を受け、原油が漏洩いたしました。ただちに該当区間の遮断バルブを閉止し、流出拡散防止対策を実施すると共に、原油の回収に努めています。

また、被災地域への支援物資の提供など、救援活動への協力も鋭意継続しております。

以上